

地域との 連携強化 ともにいきる



東日本エリアの魅力を伝え、 地域活性化に貢献

「TRAIN SUITE (トランススイート) 四季島」運行開始

「TRAIN SUITE 四季島」は、乗車されるお客さまに鉄道ならではの魅力ある旅の提案や非日常を感じられる車両空間の提供を行い、鉄道の旅のさらなる楽しみをお伝えすること、そして、地域の皆さまとともにクルーズトレインを受け入れることを通じて、地域の魅力の掘り起こしや磨き上げを行い、地域をつなぐ懸け橋となることを目的として、2017年5月に運行を開始しました。

◎TRAIN SUITE 四季島の旅のコンセプト

TRAIN SUITE 四季島の旅のコンセプトを、私たちは「深遊探訪(しんゆうたんぼう)」という言葉で表現しています。

当社の営業エリアである東北をはじめとした東日本エリアは、はっきりとした四季の変化があり、さらに強さと美しさの中に繊細さを併せ持っている地域です。

そこで、この豊かで美しい自然を、また地域に根差した産業や日々の暮らしに息づく文化を、列車ならではの「豊かな時間と空間の移ろい」の中で、いままでにない体験や発見を通じてまだ知らないことがあったという喜びを感じていただけるような旅、「深遊探訪」をTRAIN SUITE 四季島の旅で提供しています。

これまでの列車が目的地への移動手段が主だったことに対し、TRAIN SUITE 四季島は、上野を出発し東日本や北海道を周遊し再び上野に帰ってくるクルーズトレインとして、新しい仕組みを構築し運行しています。



山形の手織りのカーペットを配した車内

◎東日本エリアの魅力を感じる

これまで各地域とともにデスティネーションキャンペーンをはじめとした観光開発に取り組んできた蓄積から、TRAIN SUITE 四季島の立ち寄り先については、魅力あふれる観光素材や継続的な受け入れ体制が整っており、上質な体験ができる訪問先等を選定しました。訪問先では、TRAIN SUITE 四季島ならではの洗練された体験や発見ができるよう、これまでの観光メニューをさらに磨き上げました。さらに、TRAIN SUITE 四季島の立ち寄り先としてPRすることで地域の魅力を発信し、TRAIN SUITE 四季島の旅以外のお客さまも訪れていただけるような波及効果に繋げていきたいと考えています。また、旅に欠かせない食事は、季節に応じた各地の特色あふれる滋味を提供しており、そのほか車内の内装から浴衣や食器等の搭載品に至るまで、東日本各地の素材を多く使用しています。



訪問先の一つである三内丸山遺跡



備品としても搭載している
BUNACOの工場(青森)での体験



備品として搭載している秋田木工



漢方牛(岩手・宮城)、黒にんにく(青森)、いぶりがっこ(秋田)など東日本各地の素材を使用したメニュー

◎地域をつなぐ懸け橋に

停車駅や沿線では、地域の方による継続的なお出迎え・お見送りがなされており、乗車されたお客さまの大きな感動要素の一つとなっています。お出迎え・お見送りをされた地域が、後日、お客さまから心温まるお手紙をいただくなど、TRAIN SUITE 四季島を通じて地域との交流も生まれています。今後もTRAIN SUITE 四季島の運行を通じて、地域の力となる懸け橋になっていきたいと考えています。



地元のお子さまたちからの歓迎のお手紙



会津若松駅でのお出迎え



あつみ温泉駅でのお見送り

VOICE



株式会社
びゅうトラベルサービス
トレインマネージャー

小沢 道子

私の役割は、トレインマネージャーとしてお客さまに旅を楽しんでいただける環境づくりや、チームメンバーがコミュニケーション良く仕事に専念できるよう業務の調整を行うことです。日々の運行では、車掌との連携も重要な役割であり、運行情報のみならず、お客さまの詳細な情報を共有しながら、TRAIN SUITE 四季島に乗車されたお客さまに安全で、記憶に残る旅をご提供することを共通の目標としています。

日々乗務をしていて、TRAIN SUITE 四季島を通じて、お客さまと地域の皆さまが繋がりをより深められていくと良いと感じています。車内のお客さまは、沿線で手を振っている方々に笑顔で手を振りかえし、各駅でも盛大におもてなししていただいていることに、「TRAIN SUITE 四季島に乗車しなければ味わえない感動」とよく仰っています。お客さまも地域の方との触れ合いをとても楽しみにしていらっしゃるのです。これまで以上に接点が増えるの良いと思っています。もっと多くの地域を走り、TRAIN SUITE 四季島が走るにより生まれる活力を多くの地域の方に感じていただきたいと思います。また、これから地域の将来を担う子どもたちに元気と夢を与えられる存在であってほしいと考えています。



本社 営業部 地域連携PT
副課長

平松 佑

私は、運行開始までの4年間、旅行ルートの検討や観光・食・サービスなどお客さまにご提供する内容に関わってきました。運行が始まり、乗車されたお客さまが上野に戻ってきた際に涙を流していらっしゃる姿を拝見したり、多くのお客さまからお手紙や次回のお申し込みをいただくと、非常に嬉しく感じます。

TRAIN SUITE 四季島には二つの役割があります。一つは乗車されるお客さまに今まで体験したことのないような旅をご提供すること。もう一つは地域の方々からTRAIN SUITE 四季島が来ることを望んでもらえるようにしていくことです。

TRAIN SUITE 四季島を活用して、地域の魅力をお客さまに伝え、そして乗車されたお客さまが旅で得た感動を周囲に話し、新たなお客さまを呼び込む循環が生まれれば、各地域のステータスがさらに上がり、ブランド化が図れます。我々は「地域をつなぐ懸け橋に」という言葉を用いていますが、まさにTRAIN SUITE 四季島が地域と地域、そして私たちJR東日本グループをつなぐ懸け橋となることを願っています。